

ふじっ子

柏市立藤心小学校
学校だより 9月号
令和4年9月1日

家庭数配付



■■～どうして学ぶのか、何のために学ぶのか～■■

校長 田口 雄二

後の吉田松陰となる寅次郎が「人はなぜ学ぶのか。学ぶのは知識を得るためでも職を得るためでも出世のためでもない。人にもものを教えるためでも尊敬されるためでもない。自分自身のためである。自分自身を磨くために人は学ぶのである。」と言いました。それを受けた小田村伊之助も「なぜ学ぶのか。この世のために、自分自身が為すべきことは何かを知るために学ぶのです。私はこの長州を、日本国を守るために学びたい。自分自身を磨き、この国の役に立つ人間になりたい。そのために学びたい。」と言葉を続けました。心の底から学びたいという思いが熱く伝わる言葉です。

江戸時代には、男女や地域、身分を超えて教育が発達し、武士だけではなく、むしろ庶民が主体的に学ぶ教育が進められてきました。今のように義務教育などない時代に、多くの子ども達が「手習い」として、「読み」「書き」など多くのことを学んでいました。その子ども達一人一人の「未来への大きな志や主体的に学ぶ教育」が根底にあって、明治維新を実現させ、さらには近代日本の知的基盤をも形成したのです。

「どうして学ぶのか、何のために学ぶのか。」ということについては、これからの未来に生きる子ども達にはぜひ考えてもらいたいと思います。グローバル化の進展や技術革新による大きな社会の変化は、明治維新を超える大きな改革の時代であると考えられます。寅次郎や伊之助が生きた時代も今現在を生きる子ども達の時代も、時は離れていますが、どちらの時代の教育にも共通して重要であることは、「主体的」ということです。

ところが今の時代、子ども達も大人達も周囲の人を見て、異なることのないように、目立たないようにと「気を遣う生活文化」が広まっている風潮を感じます。また、先生に言われたから、親に言われたから、宿題だからと仕方なくやる子ども達の姿も見られます。これは、場合によってはとても大切なことですが、これからの予測困難な時代を子ども達が生きていくために重要なことは、「自ら学び、考える意志と主体的な行動力」を身につけることではないでしょうか。「学ぶこと」と「自分の人生」や「社会とのつながり」を自分自身で実感しながら、自らの能力を引き出し、未来を豊かに生きてほしいと願っています。

時々、子どもからの声として「どうして勉強しなければいけないのか？」ということが耳に入ります。その前に、まず、自分自身をしっかり見つめ、「自分はどうなりたいたいのか」「自分は何をしたいのか」を考えることのほうが大切だと思います。2学期は林間学校や校外学習が各学年で予定・計画されています。普段の授業ではできない学習活動や体験活動に取り組むことができます。場合によっては友だちと協力しなければいけないこともあります。また、公共マナーやルール、安全について学ぶ機会でもあります。一人一人が「自ら学ぶ」ことで成長できるよい機会です。江戸時代と現代の教育のよさを融合しつつ、未来を見据えた教育活動・環境の中で子ども達に必要な能力を育成していきたいと考えます。教育活動が充実する「実りの2学期」が始まりました。今後とも本校の教育活動にご協力をよろしくお願いいたします。

【9月の行事予定】

- 1日(木) 始業式
- 2日(金) 平常日課 給食開始
避難訓練 委員会活動
- 3日(土) PTA 運営委員会
- 6日(火) ステップアップ学習会(2・3年)
- 7日(水) 交通安全教室(③1年④3年⑤5年)
- 9日(金) クラブ活動
- 13日(火)・14日(水) 5年林間学校(手賀の丘)
- 13日(火) ステップアップ学習会(2・3年)
- 15日(木) 5年生 10:30 登校
- 20日(火) ステップアップ学習会(2・3年)
- 24日(土) グリーン・クリーン活動
PTA 運営委員会
- 27日(火) 教育相談日
- 29日(木) 1年校外学習
- 30日(金) 委員会活動

【10月の主な行事予定】

- 4日(火) 2年校外学習
 - 7日(金) 授業参観・懇談会(一斉で実施)
 - 12日(水) 柏市陸上競技大会
 - 18日(火) 柏市音楽発表会
 - 20日(木) 4年移動教室
 - 24日(月) 教職員一斉研修
 - 25日(火) 教育相談日
 - 26日(水) 3年校外学習
 - 27日(木) 4年校外学習
- ## 【11月の主な行事予定】
- 5日(土) 音楽発表会・藤っ子まつり
 - 7日(月) 振替休業
 - 15日(火) 就学時健診
 - 22日(火) 教育相談日
 - 24日(木) 6年校外学習
- ※行事予定は感染症の状況によって変更があります。

【教育ミニ集会ありがとうございました】

8月19日(金)にコミュニティースクール(学校運営協議会)委員5名、PTA役員・委員6名、教職員20名で教育ミニ集会を開催いたしました。前半はテーマ別グループワーク(地域連携、防災・安全、家庭教育・情報モラル)、後半は代表者による情報共有を行い大変有意義な話し合いができました。今後の、方向性として

- 藤小モデルを1年間かけて作っていく。次年度以降からは定例化していく。
- 家庭、地域で学校のために何ができるか知恵を出し、学校のサポート体制を確立する。
- コロナ禍の時代に合った行事の実施方法を模索していく。空白の時期を埋めるべく、工夫して運営する。

実際に低学年の朝のサポートを9月から徐々にスタートさせます。またお願いしたいサポート内容等について今後、お知らせ・募集して参りますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。

【9月の生活目標】

給食を残さず食べよう(食欲の秋)

- (1) 食べることの大切さについて考えさせ、食材や調理してくれた人への感謝の気持ちを持ちます。
- (2) 食べる時間を確保するため、当番の役割、配膳の仕方について再確認し、スムーズに給食の準備をするようにします。

